

Lecture

Naoko Richters

Talk



リヒテルズ直子/Naoko Richters

リヒテルズ直子講演会 + 研究会
「日本の大学生に向けて言いたいこと〜海外生活者の視点から〜」

主催 ● 文系三学部共同研究「学士力」が身に付く教育とは、学士課程教育の再検討プロジェクト

リヒテルズ直子氏講演会 会場：九州産業大学2号館 2E307教室

2011年5月30日(月) 16:30~17:30

「日本の大学生に向けて言いたいこと〜海外生活者の視点から〜」

参加：学生/教職員/一般(参加無料)

司会：安永信二准教授(学士力G/国際文化学部日本文化学科)

研究会

会場：九州産業大学2号館 2W303教室

2011年5月30日(月) 17:50~18:50

「教育の質保証問題〜学士力をどう考えるか〜リヒテルズ直子氏を囲んで」

参加：教職員/学生/一般(参加無料)

司会：岡村東洋光教授(学士力Gプロジェクト代表/経済学部経済学科)

パネラー：藤田尚志講師(国際文化学部臨床心理学科)

安永信二准教授(学士力G/国際文化学部日本文化学科)

間間 理准教授(学士力G/経営学部産業経営学科)

石川泰成准教授(学士力G/国際文化学部国際文化学科)

黒岩俊哉教授(学士力G/芸術学部デザイン学科)

九州産業大学

福岡市東区松香台 2-3-1



KSU

九州産業大学

KYUSHU SANGYO UNIVERSITY

リヒテルズ直子 / Naoko Richters

- 下関に生まれ、福岡市で育つ。九州大学大学院修了。修士課程まで比較教育学を専攻、その後、同大学院社会学博士課程に編入。1995、98年、国際文化交流財団から報償奨学金を受け、マレーシア国立マラヤ大学に研究留学。のち1999年博士課程単位取得満期退学。
- 1999年、オランダ人の夫に伴い、ケニア、コスタリカ、ボリビアに在住。この間、長男長女を出産の傍ら、翻訳・通訳業(英語・スペイン語)に従事。ボリビア国立サンアンドレス大学で大学院生に社会学講義を行う。
- 2006年よりオランダ在住。1998年より「リヒテルズ直子のオランダ通信」を開始。2009年よりインターネット上で公開。オランダの教育・社会事情を発信し続け、日本でも講演・ワークショップの企画開催、執筆など活動を展開。オランダでは文部科学省委託現地調査などで、現地研究者として協力。
- 朝日新聞「長崎新聞」などで、連載記事執筆。「日本教育新聞」「教育と医療」「エヌ社会福祉セミナー」「学誌」「クワイオン」「アプローズ」などの定期刊行物に記事執筆。
- 2007年2月、オランダ・イエナプラン教育の専門家3名を伴い訪日。東京と京都で日本で初めてイエナプラン教育のシンポジウムとワークショップを企画・実現した。
- 2008年2月には、ユトレヒト大学の市民性教育の専門家ミシャ・デ・ウインター博士とルック・ステーヴェンス博士を日本にまねき、シンポジウム開催。モデレーターとしてシンポジウムの進行を担当した。

リヒテルズ直子 著書

- 『いま『開国』の時、ニッポンの教育』(ほんの木 2009・尾木直樹さんとの共著)
- 『残業ゼロ授業料ゼロで豊かな国オランダー日本と何が違うか』(光文社 2008)
- 『オランダの個別教育はなぜ成功したかーイエナプラン教育に学ぶ』(平凡社 2006)
- 『オランダの教育ー多様性が一人一人の子供を育てる』(平凡社 2004)
- 『うちの子の幸せ論』(ほんの木 2007・共著)
- 『学力を変える総合学習』(明石書店 2006・共著) など。